

治療成績の向上にともない血液がん・小児がんが「暮らしながらの治療、治療しながらの暮らし」となってきました。それは大変良い事ですが、薬の副作用、治療後の合併症、長期の治療費支払い、治療による外見の変化等、様々な困難が生じてもあります。

つばさは常に「いま当事者がとても必要としていること」に手を差し伸べたいと考えます。そこで2018年も、医療や創薬の方々と患者さんとそのご家族が治療情報を共有する場として、フォーラムやセミナーを開催しております。[詳しくはフォーラムのページをご覧ください。](#)

また電話相談も継続して運営しておりますが、より良い相談対応のために、2015年から次の5人の先生方にご専門のお立場よりアドバイスをお願いしております。

岡本真一郎先生

慶應義塾大学病院血液内科／日本造血細胞移植学会理事長

小寺良尚先生

愛知医科大学名誉教授／公財）日本骨髄バンク理事長

後藤雄子先生

ゆう脳神経外科 院長

木村晋也先生

佐賀医科大学病院 血液・呼吸・腫瘍内科

亀井美智先生

名古屋市立大学病院 小児科